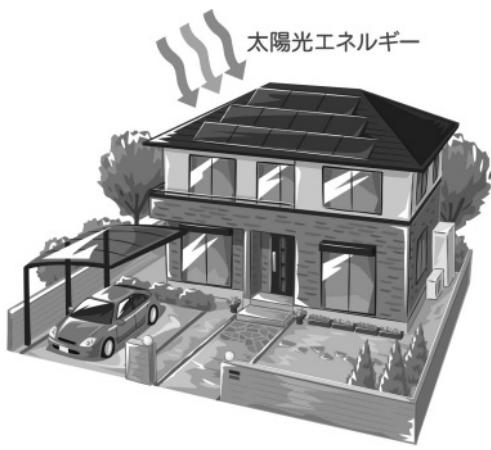


環境・エネルギー

町では、平成23年度から住宅用太陽光発電システム設置補助を始めました。

昨年3月の震災以降、自然エネルギー活用に関心が高まる中で特に注目を浴びている発電システムではありますが、導入経費は高額で簡単には設置が進まない課題もあります。

町の施設には認定はやきた子ども園の建設以降、太陽光パネルの設置を推進していますが、町民の方への普及もあわせて促進する目的で設けられています。



設置への支援策

町では新築住宅、中古住宅、現在居住の住宅への設置に対して助成をしています。(町税の滞納がないなどの条件があります。)

補助金額は発電最大出力値1kWあたり**7万円**(21万円限度)で一般的なパネルの価格の1割強の計算となり、補助額は毎年変わる可能性があります。補助額が、**国の補助制度**と合わせて利用することが可能で導入に際しての若干の割安感を得ることが出来ます。

そして設置を行ってからは、導入時期の単価で余った電力を10年間買い取ってもらえる**余剰電力買取制度**があります。基本的な発電システムでは電気を作るだけで蓄えることができないので、使用されていない電力は電力会社買取る仕組みとなっています。ただこちらの単価も年度によって変動していますので、国の補助制度と合わせて事前に検討材料として確認されると良いでしょう。

設置には

屋根の形状を問わずパネルの設置は可能ですが、家の構造に合わせた設置やパネルの数、メーカーの違いによって性能や費用に違いがあることも設置の際の確認が必要です。屋根だけでなく敷地内への設置例もあり、光の当たりやすい環境を整えば設置は可能と言えます。

意外に向いている？

温暖な地域と比べて私たちの住む寒冷地はソーラー発電に向かないのではと思いがちですが、北海道帯広市と四国の高松市とが同等の発電量となっているデータもあります。

太陽光パネルは高温時に発電量が落ちる特性を持つっており、その点が年間の発電量がそれほど変化しない理由のひとつのようです。

平成23年度の利用状況(12月現在)

補助金を利用され設置された実績は3件あり、新築1件と既存住宅2件となっています。うち既存住宅に設置された太陽光パネルは陸屋根(平屋根)に設置されたケースと切妻型の屋根(傾斜屋根)への設置がありました。



25年までに

冬期間の工事が難しいことから本年度の**住宅用太陽光発電システム設置費補助金**の利便は無理であっても、町では25年度までの計画で現行の補助制度を行う予定ですので、導入の検討や関心のある方は4月以降の実施に向けて準備をお勧めします。

これら制度に関するご相談は住民生活課(☎2940)でお受けいたします。

お急ぎください！

地球温暖化防止の取り組みとして本年度LED電球の購入補助を行っています。

町内でのLED電球を購入した場合、購入費の2分の1(5千円限度)を補助する制度ですが3月31日が申請期限となっています。

現在各社から多くの製品が発売され価格の安いものも見かけるとは思いますが、購入の際には値段ではなく明るさなど用途にあった選択で間違いの無い購入をお勧めします。